

<令和8年度の住民参加の取り組みイメージ>

基本計画（素案を踏まえ令和8年5月策定予定）を基に、将来の整備や管理運営のイメージの具体化を進めます。緑地コンセプトなのである「地域で守り、育み、活かす緑地」を実現するため、これまでの「ワークショップ」「緑地開放」「フィールドワーク」の取り組みにを軸に、区民の参加と協働を推進し、特定テーマとして（仮称）利活用プロジェクト、（仮称）森づくりプロジェクト※2を企画、実施します。

（仮称）利活用プロジェクト

地域で活かす緑地をめざします。区民の発意やニーズを捉え、プログラム※1を企画・試行し、緑地をフィールドに利活用を図り、緑地の魅力を高める管理運営を実現します。



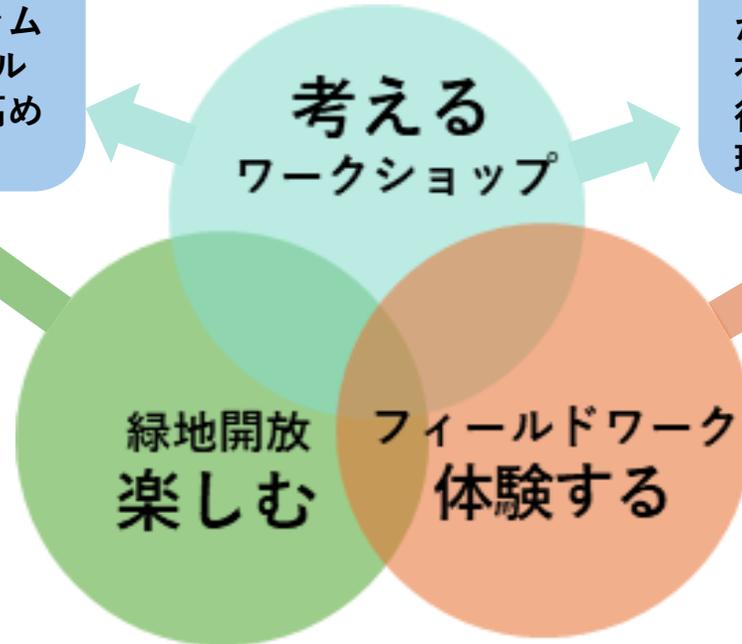
（仮称）利活用プロジェクトのイメージ

（仮称）森づくりプロジェクト

環境の「手入れ」を通して育まれる豊かな森をめざします。区民と将来像を共有しながら、取り組み目標を設定し、試行を重ねることで、設計への反映及び管理運営を実現します。



（仮称）森づくりプロジェクトのイメージ



※1（仮称）利活用プロジェクトで想定するプログラム

緑地での地域交流、竹を使った工作や自然観察会等の体験学習、ウォーキングや太極拳等の健康増進、緑地の落ち葉を使った堆肥づくり等の資源循環など緑地をフィールドに区民による様々な利活用を想定します。

※2（仮称）森づくりプロジェクト

生物多様性を保全するため、きめ細やかな維持管理の作業が必要とされる「野鳥の丘」、「生物多様性の林」を対象し、基本計画の将来像を共有し、目標を検討するとともに、試行的に手入れ、モニタリングします。「生物多様性の林」の「雑木林ゾーン」は、既存の弱った樹木を伐採し、雑木林の構成樹種へ樹種転換するため、特に区民と丁寧に合意形成を図る必要があります。樹種転換に向けて、実生木の移植や苗木の育成を検討しています。